



近鉄郡山駅周辺 まちづくりワークショップを開催しました

平成 26 年度から取り組んでいる近鉄郡山駅周辺地区のまちづくり。その基本計画策定に向けてまちづくりワークショップを 2 月 22 日（木）に市役所で開催しました。



memo

近鉄郡山駅周辺まちづくりについて

いまなにをしているの？

昨年度に基本構想で定めた「城下町の風情を活かし、いきいき暮らせるまちづくり」をコンセプトに、構想の実現に向けた「基本計画」の策定に取り組んでいます。その中で昨年ワークショップを開催し、駅周辺が抱える様々な課題を解決するため、駅の北側移設も含めた駅前広場の再整備や駅周辺の道路計画・賑わいづくりなどについて検討しているところです。

これからどうするの？

これまでのワークショップの結果などを踏まえた基本計画（案）をもとに、基本計画の早期策定を目指し、関係機関等との協議・調整を行い、計画をより具体的なものにしたうえで、事業化に向けて準備を進めています。当地区のまちづくりは、駅前だけでなく、お城や街中のまちづくりと連携して進めていて、その中で、できることから順番にやっていく予定です。

昨年に全 5 回のワークショップを開催し、駅前広場の再整備や駅周辺の道路計画などについて議論を重ねてきましたが、今回はその 5 回のワークショップで検討した内容を反映させた「近鉄郡山駅前の計画イメージ案」を提示し、公募の市民のみなさんを含め意見交換をしていただきました。

今後は、ワークショップでいただいた意見や検討した内容を踏まえて、基本計画をとりまとめていく予定です。

ワークショップの詳しい内容は、市ホームページ（下記 URL）からご覧いただくか、都市計画課窓口で配布のニュースレターをご覧ください。

<https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/govt/machi/kstation/004973.html>



問合せ＝都市計画課 まちづくり協定推進室（内線 672）

●金魚マイスターのおはなし●

金魚マイスター養成塾って何？

金魚のまち大和郡山で平成 27 年に開講した金魚についての専門知識を得るための養成塾です。

きっかけは…

開講のきっかけは、平成 26 年に開催された「金魚サミット IN 大和郡山」で、パネリストの荒俣宏さんから、「金魚を飼う文化を復活させるためには、金魚の飼い方に精通した人材を育成するのが一番の近道ではないか、それが金魚養殖産業の活性化につながるのではないか」と提案があったことからです。

ドイツ語の meister は「巨匠」「その道に精通した人」を意味します。

金魚の歴史・飼育方法・金魚すくい等の角度から金魚を学び、全講座を修了した人は金魚マイスターに認定。現在、小学生高学年～80 歳代の、77 人が認定されています。

どんな活動を？

金魚マイスター認定後は、金魚即売会（お城まつり）・全国金魚すくい選手権大会、大型商業施設での金魚出張講座、金魚ゆかりの地を巡る「金魚マイスターの良いとこツアー」、金魚の飼育日記を市ホームページに掲載するなど活躍しています。また、フォローアップ講座も開講し、認定後もさらに資質の向上ができる体制を整えています。

ぜひみなさんも

より多くの人に金魚を知り、金魚を育てる楽しさを感じてもらうため、金魚の魅力・大和郡山の魅力を広める金魚マイスターにあなたもなってみませんか？平成 30 年度も塾生（第 4 期）を募集する予定です。

問合せ＝農業水産課（内線 552）

